

# 報恩講のご案内

秋涼の候、ご門徒の皆様にはいかががお過ごしでしょうか。

さて、左記の通り報恩講をお勤め致します。報恩講とは、三代目の門主覚如上人が、親鸞聖人の三十三回忌（西暦一九九四年）から、聖人に感謝しご恩に報いるために始められた法要です。実に七二〇年以上の歴史をもっています。

お寺の大きな法要は年四回しかありません。それは宗教とは、人間とは、命とはと考える大事な機会ともなります。とりわけ、報恩講は真宗門徒が最も大切にしなければならぬ行事です。是非ともお参り頂きたく存じます。

お斎を挟んでの法座となります。準備の都合上、ご参拝下さる方は十一月十日までにお寺へお知らせ下さいますようお願い致します。

## 記

日 時 十一月十七日（日）

十 時 お勤め（奉讃大師作法（正信偈））

十一時 ご法話

十二時 お斎（弁当）

十三時 お勤め

十三時半 ご法話

十四時半 終了・後始末

講 題 「念仏のみぞまこと」

御講師 寺 澤 真 琴 氏

清徳寺住職（蒲生郡日野町） 浄土真宗本願寺派布教使

持ち物 念珠 門徒式章

\*式章をお持ちの方はご持参下さい。

その他 昼休みに、ホームページやLINEの説明と、まだの場合は、設定のお手伝いをします。携帯をお持ちの方はご持参下さい。

令和六（二〇二四）年十月十七日

永 順 寺

ご門徒の皆様へ